



2面 スケートボードのルール

3面 沖縄、太陽系、たばこ みんなの回答

4面 エネルギーを考える SDGs

5面 妖怪図鑑 ベとベとさん

ニュースあれこれ

生活保護の申請、3割増える 4月、特定警戒の主な自治体

新型コロナウイルス対策で「特定警戒都道府県」となった、東京など13都道府県の主な自治体で、生活保護の4月の申請件数が前年と比べて約3割、増えたといえます。朝日新聞の調べです。新型コロナウイルスの影響で店の休業などを求められ、仕事を失ったり収入が減ったりして、生活に困っている人が増えています。

生活保護 十分な収入や財産がない人に、国が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度。生活費や教育費などを支給します。利用者は2020年2月時点で約206万人です。

USJが19日から再開するよ ディズニーはまだ

新型コロナウイルスの影響で2月末から臨時休園していた、大阪市のユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)は、6月19日から営業を再開します。ただし、大阪など関西の2府4県に住む人や、年間パスポートを持つ人だけが対象です。大阪府に住み、年間パスポートを持っている人は一部、8日から入れます。一方、千葉県浦安市の東京ディズニーランドと東京ディズニーシーは臨時休園を続けます。

3面にも ニュース あれこれ

消毒液で「空間除菌」、効果不明 菩薩像の内部にも菩薩像

日付は現地時間。記事の一部は朝日新聞社の提供です。



毎日、新聞が届くと一番目を向けます。これからもおもしろい連載を楽しみにしています。(栃木県・6年)



モチモチフワッフワ

スクイーズ

焼きたてのような香りのフランスパンや食パン、イチゴの香りだったりフワッフワだったりさまざまな感触です。スクイーズは英語で「ぎゅっとにぎる、しぼる」という意味です。代表的なメーカー「ブルーム」によると、主な材料は発泡ウレタンという素材で、その配合で

スクイーズは、パンやケーキ、キャラクターなどさまざまな商品があります

日本生まれのおもちゃ 50種類の香り

さわり心地が変わります。フルーツやキャラメルなど50種類以上の香りがあります。ブルームが最初にスクイーズを発表したのは2002年。バナナの形をしたゲームセンターの景品でした。やがて携帯ストラップなどがお店で売られるように。今から数年前に海外のユーザーが動画で紹介したのを機に、国内外の人がスクイーズをさわる様子を配信し、人気に火が付きまします。17年に東京・原宿に専門店ができ、今に続く大ブームになりました。

海外にも広がる

スクイーズは、海外では「スクイッシー」という名前が親しまれています。英語で「ぐにやぐにや」という意味です。佐藤さんによると、インドネシアやタイなど東南アジアの国々や、アメリカやオーストラリアで特に人気があります。カナダのトロントに住むエレン(7歳、小学2年)は「スクイッシーが大好き」といいます。「お気に入りには猫のスクイッシーで、さわっていると心がおだやかにになります」

「ぎゅっとにぎると心が落ち着きます」というエレンアさん=本人提供

好きな遊び方は「宙に投げてキャッチする時ににぎること」です。今は休校中ですが、学校の友だちの間でもスクイッシーは人気だそうです。「教室に持ってきて見せ合います。ある友だちは、虹色のハート形のスクイッシーがついたノートを持っています」。エレンアさんは、「日本の女の子たちがどんなスクイッシーを持っているのか、知りたいな」と話しています。

天声人語 世界のみなさんが地球環境を真剣に考え始めたのはいつからでしょうか。1992年6月3日にブラジル・リオデジャネイロで開かれた地球サミットからでしょう。有害な紫外線から生物を守る空気の層「オゾン層」の破壊や、地球温暖化などが話し合われました。会議で注目を集めたのは12歳のカナダ人少女、セパン・スズキさんです。「オゾン層に穴をどうふさぐのか、あなたは知らないでしょう。絶滅した動物をどう生き返らせるのか、あなたは知らないでしょう。どうなおすのか分からないものを、壊し続けるのはやめて下さい」▼セパンさんの演説は各国の首脳たちを動かし、言われていました。セパンさんはいまも環境保護活動を続けています▼あれから28年、オゾン層の破壊はくい止められたのですが、地球温暖化は進んでいます。地球を守るため、みんなが声を上げる事が大切です。

朝顔のハガキ 夏休み、はくは「ハガキの人」に会いに行った少年2人の、ちょっとホラーな夏休み。作:山下みゆき 絵:ゆの 定価1200円+税 第10回 朝日小学生新聞社 児童文学賞受賞作

朝日新聞で学ぶ総合教材 **今解き教室** 思考力や記述力を伸ばす

2020年度教材 申込受付中! 今解き教室 e-shop

2020年度テーマ(予定) 2020年3月号から2021年2月号

- 3月【環境編I】ストップ! 地球温暖化
- 4月【科学技術編】テクノロジーの最前線
- 5月【政治編】地域から考える政治
- 6月【福祉編】みんなで助け合う社会へ
- 7月【情報・メディア編】情報とのつきあい方
- 8月【文化・歴史編】歴史から今を考える
- 9月【災害編】地震列島に生きる
- 10月【暮らし編】命を支える食糧と水
- 11月【国際編I】揺れ動く世界情勢
- 12月【環境編II】エネルギー新時代
- 1月【医療編】医療が変わる「人の命」
- 2月【国際編II】国際社会と日本

6月号のテーマは「みんなで助け合う社会」です。差別されることなく、みんながより生きやすい社会にしていけるには、ひとりひとりの努力が必要です。

今解き教室 今解き教室 今解き教室

L1 基礎 小学4年生~6年生

L2 発展 小学6年生~中学生

テキスト(A4・オールカラー) & 解答・解説 ●発行・編集 朝日新聞社

今解き教室は2010年の創刊時から、記事の資料を読み解き自分の意見を書くことを重視してきました。中学入試や公立中高一貫校の適性検査はもちろん、大学入試にも通用する力をつけます。

●今解き教室12カ月コース(2020年3月号~2021年2月号)

- L1基礎(冊子教材)15,600円(1カ月あたり1,300円)
- L2発展(冊子教材)19,200円(1カ月あたり1,600円) ※価格はすべて税抜き。

電子ドリルつきや作文教室添削コースもあります。 **電子ドリル2019年度版無料開放中!**

●電子教材はASA(朝日新聞販売所)、紀伊國屋書店(一部店舗を除く)でもご購入いただけます。

●お問い合わせ 03-3796-3815 (月~金10:00~18:00 ※土日祝休)

未来の科学技術を考える **今解き教室 サイエンス** 小学4年生~中学生向け

2020年度テーマ(予定)

- 1月 情報・通信技術の発達
- 2月 地震・噴火と防災
- 3月 命を守る水と食糧
- 4月 生物多様性を守る
- 5月 感染症の科学
- 6月 科学・技術の未来と課題

●B5判/48ページ・オールカラー ●年間6冊 定価720円+税/1冊 ●発行・編集 朝日新聞社 ●販売 朝日新聞出版 ●お申し込みは「朝日新聞販売所」 ●ASA(朝日新聞販売所)や全国の書店でもご購入いただけます